

## 小 松 基 地 ・ 空 港 対 策 特 別 委 員 会

1. 日 時 平成 29 年 6 月 22 日 (木)  
午前 10 時 00 分 開会  
午前 10 時 30 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 浅野清利委員長、灰田昌典副委員長、新田寛之委員、片山瞬次郎委員、  
二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員
4. 欠席委員 なし

### 5. 委員会の議題

#### 調査事項

- ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について

#### 報告事項

##### 【飛行場課】

- ・ 金沢防衛事務所の小松市への移転について
- ・ 小松飛行場周辺整備協議会新役員について

##### 【国際都市推進課】

- ・ 小松空港の利用状況について

### 6. 委員長報告の要旨

#### ■金沢防衛事務所の小松市への移転について

金沢防衛事務所を小松市浮柳町地内、大阪航空局小松空港事務所庁舎 1 階に移転するとのことであります。現在、移転に向けた小松空港事務所事務室の改修工事の公告を行っており、今年 7 月末に契約し年内 12 月 22 日までに工事を完了させる予定との報告を受けました。

#### ■小松空港の利用状況について

昨年度の国際線利用者数は過去最高を更新し、今年度についても、4 月から 5 月までの利用者数は、対前年同期比 21.8% 増とのことであります。このうちチャーター便については、台北のほか、香港、ベトナム、グアム、マカオとの間で運航され、インバウンド観光需要として、今後も期待できるものであります。

また、香港チャーター便については、春の運航に引き続き、9 月下旬から 10 月までの週 2 往復、

計9往復が運航されるとのことでありました。

一方で、北陸新幹線金沢発・仙台直通臨時列車の10月初運行を契機に新たな展開も考えられることや、今後、北陸新幹線の小松開業などの影響から小松空港利用者数の減少が懸念されます。

国内線のみならず、国際線においても、石川県や関係機関とともに、利用促進に努めているとのことでありましたが、小松市として、加賀市や利用が伸びている福井県とより連携を密にし、また、利用客の選択肢に広がりを持たすことができるLCCなどの誘致も見据え、更なる小松空港の活性化・利用促進に努めるよう求めました。

#### ■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのことであります。

今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めるものであります。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。